

五六升にうるも、にがにが敷事二候、又うり物持
 申さざるものは、高利にて米を借候は、いよいよ
 失墜なる事に候、地頭代官より割付出候はば
 其積を仕り、不足に付てはまえかど借り候て済
 べし、前かどは借物の利足もやすく、売物も
 おもうままなるべし、尤納べき米をもはやく
 納むべし、手前に置ほど鼠も喰、盗人火事

★にかにか敷（苦々しく…甚だ不愉快な）

高利（二こうり…通常より高い利率）

其外万事二付、大きな損にて候、糶をば
 能ほし候て米にするべし、なまいなれば

碎候て、かん米立ち候、よくよくこころえあるべき事

一身持を悪敷いたし、其年の年貢不足に

付、たとえば米を弐俵ほどかり、年貢に出し、

其利分年々積り候えば、五年に元利の米

拾五俵になる、其時は身躰を潰し、妻子を

★なまい（生い…干し方が十分でないこと）

かん米（欠米…欠損・損耗した米）

身躰を潰し（しんたいをつぶし…暮らし向き・財産、生計が成り立たないこと）